

特集

# 今、生活の 中で問題と感じ ていること

## ～自分らしく地域で暮らすには～

私たち頸髄損傷者の生活（くらし）は、体の不自由さゆえに「豊かな生活」を求めようとする、非障害者が十分だと思える以上の環境整備（人の支援、建物のバリアフリー、介助サービス制度）が必要となります。近年では、環境整備や社会資源が充足しつつあるのか、重度の障害があっても「自分らしく」を求めることができだしており、地域でひとり暮らしをする障害者も増えてきています。

反面、環境整備や社会資源が整っていても、個人におけるニーズに応える環境が足りていないため、生活に不満を感じさせ、ともすれば大きな問題を抱え込むことで生活がしづらくなっている障害者が多いのではないかと考えています。

今回、兵庫頸髄損傷者連絡会・機関誌「縦横夢人」では、「今、生活の中で問題と感じていること」というテーマで特集を組むことにしました。障害が重度であることと、生活様式（ライフスタイル）が多様であることを考えると、頸髄損傷者だからといって不便であると感じる場面やポイントはそれぞれだと思います。簡単なことから複雑なことまで、頸髄損傷者が抱える「問題」とそれが生活にどのような影響を及ぼしどのような困難さを生じさせているかを多くの頸髄損傷者に知ってもらいたいと思います。

（山本 智章）